

いきいき市民活動情報

与板町商工会から、お薦めのイベントに関する情報が寄せられました。
については、下記のとおり概要をお知らせしますので、ぜひ、長岡市民の「市民力」
や「地域力」を生かした活動を、貴社で取材くださいますようお願いいたします。

標 題	日本人初の醸造家のビールに想いをはせ 「第20回中川清兵衛サッポロビールフェスタ」を開催	
日 時	8月5日（土）午後5時～9時	
場 所	与板★中川清兵衛記念 BBQ ビール園（長岡市与板町与板たちばな公園内）	
内 容	<p>イベントの主旨</p> <p>与板地域出身で、単身ドイツに渡り、技術を習得した日本人初のビール醸造技師、中川清兵衛。その功績を称え、地元の有志が始めた本イベントは、今年で20回目を迎えます。</p> <p>4年ぶりの開催となる今回は、中川清兵衛記念 BBQ ビール園を貸し切り、特設ビアガーデンを当日限定オープン。河川公園の自然を満喫しながら生ビールを味わえます。</p> <p>1 主な内容</p> <p>①新潟限定生ビール「風味爽快ニシテ」の販売 ②枝豆、やきそばなどの販売</p> <p>2 主催 与板町商工会、ビールフェスタ実行委員会</p> <p>3 特別共催 中川清兵衛敬慕会、 株式会社与板 BBQ ビール園</p> <p>4 後援 長岡市</p> <p>5 席数 200席</p> <p>6 その他 これまでは与板支所で開催してきましたが、庁舎改築工事に伴い、会場を変えて開催します。（令和元年の来場者 約750人）</p>	 <p>【与板支所で開催した時の様子】</p>
問 い 合 わ せ	与板町商工会 早川 電話0258-72-2303	
情 報 提 供 課 名	与板支所産業建設課 佐野 電話0258-72-3201	

第20回 中川清兵衛 サッポロビールフェスタ



SAPPORO

やっぱり
生樽のビールはちがう。



中川清兵衛

与板地域出身、ドイツで修業をし日本ではじめてビールを醸造したことから「日本ビールの父」と呼ばれました。
歴史に思いをはせながら美味しいビールをぜひご堪能下さい！



2023

8.5 (土)

17:00～21:00

8月に与板町商工会が発行する「与板町限定クーポン券」も会場で使用できます。

【会場】与板★中川清兵衛記念BBQビール園

【主催】与板町商工会・ビールフェスタ実行委員会

【共催】中川清兵衛敬慕会・株式会社与板BBQビール園

【後援】長岡市

【特別協賛】サッポロビール株式会社・与板ライオンズクラブ

【お問合せ】与板町商工会 ☎0258-72-2303

※20歳未満の飲酒、飲酒運転は法律で禁じられています。その他会場内外でのトラブルは一切の責任を負いませんのでご了承下さい。

※会場までは路線バス等、公共の交通機関をご利用のうえ、ご来場下さい。



※保健所の指導もあり、飲食物についての持ち込みはご遠慮願います。

“日本のビール醸造の父” 「中川清兵衛」生誕175年!!



新潟県三島郡与板町
(現 長岡市与板町) 出身
1848年1月16年

清兵衛は、与板の豪商扇屋中川家の一族に生まれ、16歳で単独横浜へ、幕末の1865年にイギリスに渡り、その後ドイツへ移住、後の外務大臣青木周蔵との出会いからベルリンビール醸造会社でビール醸造技術取得のため修業に励む。

1875年、約2年の修業を終え修業証書を胸に帰国。札幌の開拓使麦酒醸造所の主任技師として、ビール醸造に全ての技術と情熱を注ぐ。

1877年日本人の手による初のビール「札幌冷製麦酒」の製造に成功。専門家からも最大級の賛辞が送られたという。

清兵衛は与板に戻ることはなかったが、心に故郷は生き続けていたのだろう。後年全ての事業から離れ横浜に住んでいた頃、郷里与板から養母を招き東京の名所を案内するなど、清兵衛の人間味を垣間見ることのできる逸話が残っている。若くして与板を離れ、波乱万丈の人生を歩んだ清兵衛からのせめてもの親孝行であった。

2000年“日本のビール醸造の父”中川清兵衛の偉業を称え、地域住民有志により生家跡に生誕碑が建立された。

中川清兵衛 年表

- 1848 (嘉永元) 年 / 父 卯平・母 いとの長男 直次郎として生まれる。
- 1864 (元治元) 年 / 16歳で与板を出て単身横浜へ。
- 1865 (慶応元) 年 / 幕府の禁を犯し、英国へ密航する。
- 1872 (明治5) 年 / ドイツに渡りドイツ人の家庭に住み込みで働き生計を立てていた。
- 1873 (明治6) 年 / 後の外務大臣青木周蔵と出会い、実学を進められ、留学生としてベルリンビール醸造会社で修業を始める。
- 1874 (明治7) 年 / 醸造長の経験と勘により取り仕切る徒弟制度で営まれる環境のなか、工場に泊まり込み、睡眠時間を削って修業に励んだ。
- 1875 (明治8) 年 / ベルリンビール醸造会社から修業証書が授与され、2年2か月に及んだ醸造技術の修業を終え帰国。開拓使麦酒醸造所の主任技師として醸造所の建設に着手。
- 1876 (明治9) 年 / 札幌開拓使麦酒醸造所竣工。京極繆子と結婚。
- 1877 (明治10) 年 / 10月初の醸造に成功。様々な困難を乗り越え「札幌冷製麦酒」が完成。専門家からも最大級の賛辞が贈られた。この時の宣伝文に使われた「風味爽快ニシテ健胃ノ効アリ」が、後の新潟限定ビール「風味爽快ニシテ」の商品名となる。
- 1881 (明治14) 年 / 明治天皇が有幸で醸造所を訪れた際に清兵衛が自らジョッキに注ぎ、陛下に献上され重ねての所望をされた。
- 1891 (明治24) 年 / ドイツ人技師と製法の対立から札幌麦酒会社を辞職。
- 1892 (明治25) 年 / 小樽で旅館を経営。
- 1895 (明治28) 年 / 旅館を経営しながら私財を投じて、利尻島のオシドマリ港の防波堤工事に着手。後年工事は失敗し、全財産を処分することとなる。
- 1915 (大正4) 年 / 名古屋の長男一家のもとへ移住。
- 1916 (大正5) 年 / 名古屋医大で情熱と波乱に満ちた68年の生涯を閉じる。末期の水は本人の意思によりビールであった。

中川清兵衛敬慕会

(令和5年度 地域の宝磨き上げ事業)